



消費者教育NPO法人  
お金の学校  
くまもと

消費者教育NPO法人

# お金の学校くまもと

会報・第12号 2009年 1月発行

〒862-0950 熊本市水前寺2-21-19-2F水前寺NPOハウス TEL・FAX 096-384-4453

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~ngaku/> gakkou@sat.bbiq.jp 発行責任者 徳村美佳

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

新しい年、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

旧年中は、当NPOの活動をご支援いただきありがとうございました。

本年も、多重債務者問題改善のために「できることを（自分たちが）できるだけ、精一杯」＝「できたしこ」で、取り組んでいく所存でございます。

新しい年がみなさまによって、佳き年となりますようお祈り申し上げます。

本年も、ご指導・ご支援の程よろしく願いいたします。

スタッフ一同



## ひと ぜん い たの 人の善を道うを楽しむ

代表 徳村美佳

世の中、静かな論語ブームのようです。テレビでは、論語をモチーフにしたバラエティ番組が放送され、書店には目立つところに論語の本が並べられています。最近、わたしも一冊の本を手にしてみました。この中でお気に入りの論語を、ひとつ紹介します。

「人の善を道うを楽しむ」。意味は、好い話を伝えるのを楽しむこと。解説には、こう書いてあります。『いい事をしている人を見つけて、その行いを人に伝えたら、聞いた人は「世の中捨てたもんじゃない」と笑顔になり、気持ちは双方晴れ晴れとする。世の中に伝えるべきはいい話。知らず知らずに人を救う。とてもよい趣味』（ほっとする論語 92頁 二玄社）

これまでになにか問題があると、「あれが悪いこれが悪い、あれが足りないこれが足りない」とグチを言ってきました。しかし、今年からは、もっと、「こんなことをしている人がいる。こんなこともできる。あんなことがやれたら」と、前向きな発言ができたと思います。消費者問題についても、グチを言って終わりではなく、「こんなことが必要、こんなことができる、私たちはこんなことへの支援ができる」と、提案・提言を増やしていけたら・・・これが、知らず知らずに人を救うことにつながるとすれば、なんてステキなことでしょう。

ちなみに、本の帯には、「おじさんのための『論語』は、もうサヨナラ！」と書いてありました。論語好きの私って、やっぱり中身は「おじさん」！？